

週間ページにこだわりを詰め込んだ
「2023 年 4 月始・ACTIO 手帳デジナーレ」
～圧迫感・視認性・自由度に配慮したレイアウト～



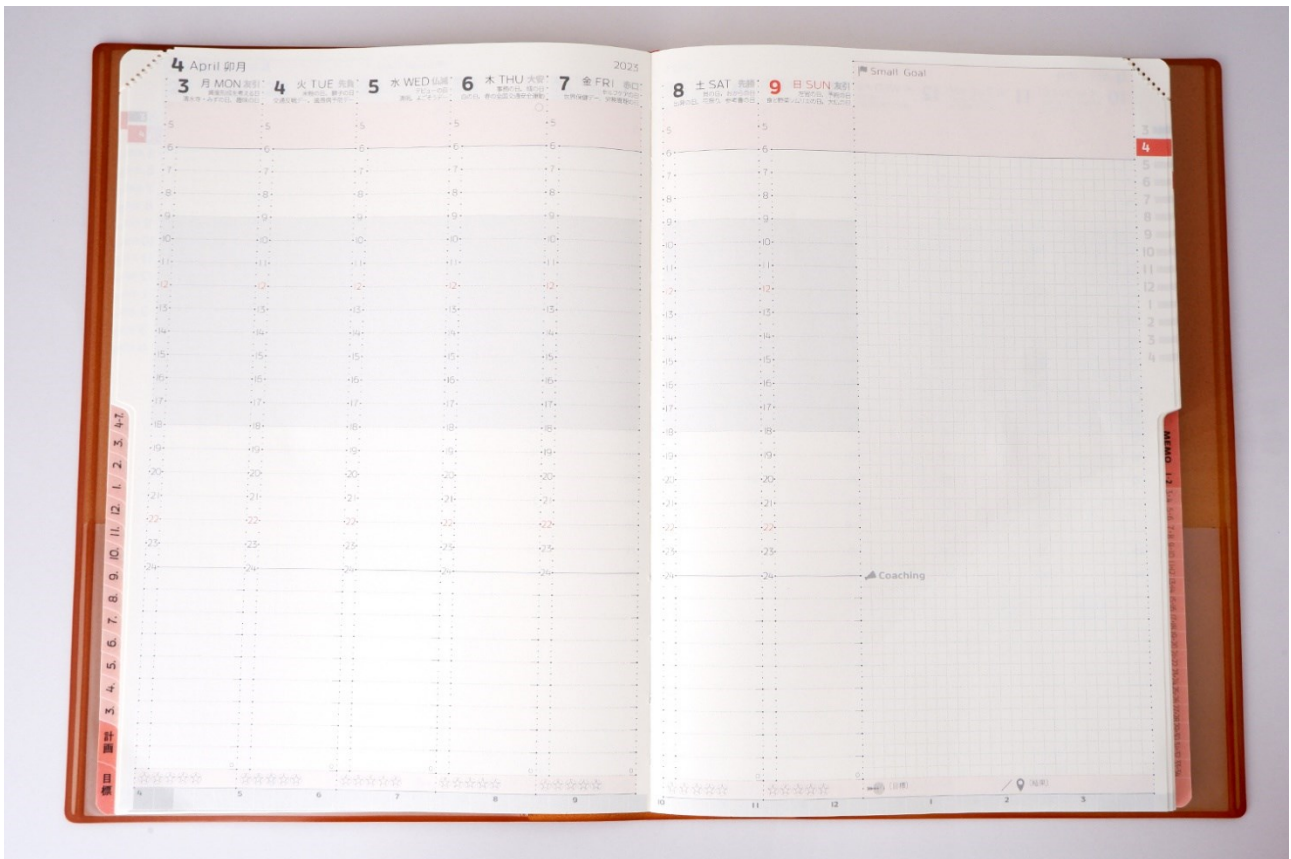
EDUL Design 株式会社 (本社：大阪市北区、手帳デザイナー：梶田 泰里、以下 EDUL Design)は、社会人が自律を育むためにデザインしたビジネス手帳に、罫がなくても各ページ間での移行が便利にできる特許機能を備えた「2023 年 4 月始・ACTIO 手帳デジナーレ」を販売している。

当プロダクトは、下記 3 点にこだわりを追求しているビジネス手帳である。

- I. 機能性・・・快適に手帳を活用できるように罫がなくてもページ移行が簡単に行える特許機能
- II. デザイン性・・・見た目の圧迫感・書いた文字の視認性・自由にアレンジを追求した週間ページ
- III. 使用価値・・・週間ページ以外の充実したページ構成

今回は、以下「II. デザイン性」について、手帳のメインページとなる週間レイアウトの詳細を説明する。

こだわりを詰め込んだ週間レイアウト①【見た目の圧迫感を低減】



ACTIO 手帳デジナーレの週間ページでは、自己成長に繋げていただくためにも「時間管理能力」を習得しやすいバーチャルタイプ（時間目盛が縦に並んでいるタイプ）を採用している。

左から、月曜日～日曜日の順に並んでおり、見開きで一週間を俯瞰できるのが大きなメリットで、その右端スペースにはフリーメモ欄をなるべく広めに設計している。このように、ACTIO ブランドの週間ページでは、週間ページ内のフリーメモスペースに対して、プライオリティを高く位置付けている。



また、ACTIO 手帳の週間ページの大きな特長のひとつとして、日ごとの境界線がくっきりと引かれていない点だ。多くの手帳では実線でくっきりと日ごとの境界線を引いている手帳が多く、これが圧迫感を感じる原因となる。そこで ACTIO 手帳シリーズでは、15分単位のドットラインで時刻表記の左右を挟むようにして平行表記しており、これが時刻機能と日ごとの境界線を兼ね備えたデザイン

（意匠登録済）となっており、機能性をよりスマートにアップグレードしつつも、圧迫感をも感じにくいレイアウトが生まれた。

◆こだわりを詰め込んだ週間レイアウト②【書いた文字の視認性】

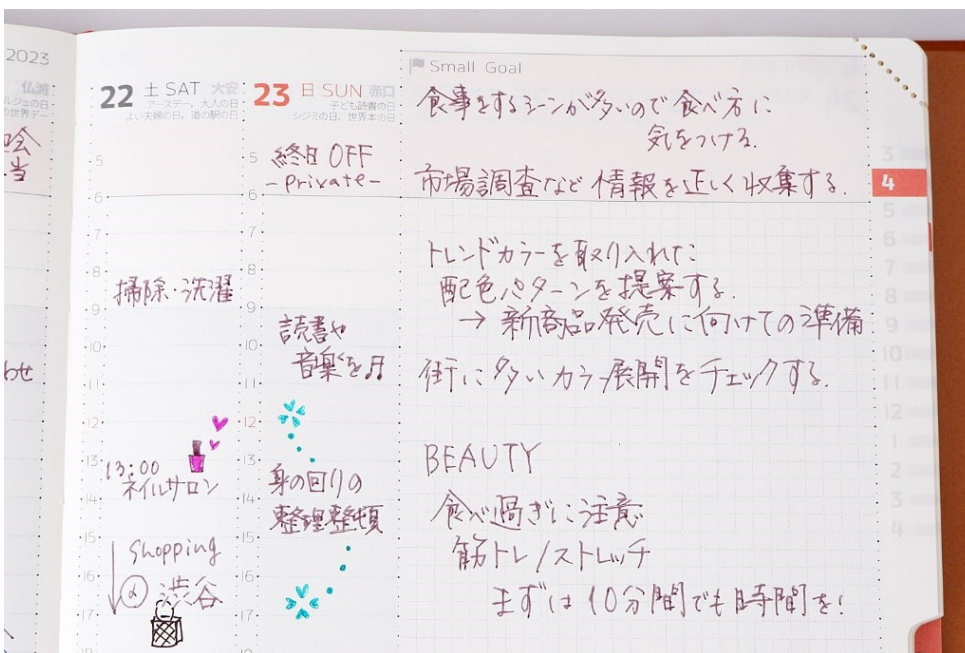


そして、「フォント」の種類・サイズ・太さ・インク濃度、「線」のスタイル・太さ・インク濃度、「印刷色数」は2色、といったことを意識しながら、デザインしては紙に出力して試し書きをし、また修正しては紙に出力して試し書きをする、といったことを何度も繰り返して行き着いた「ACTIO 手帳シリーズ独自のレイアウトデザイン」が3年程かけてでき上がった。

線のデザインは、一つの線の要素を変えるだけで、今まで良かったと思えた別の箇所も修正を余儀なくされる途方もない作業である。これを根気強く何年も修正を繰り返してきた結果のデザインである（少なく見積もっても3000回以上の校正実績あり）。

これらのことをこだわり続けた結果、週間ページ内の機能はしっかりと充実していながらも、シンプルで圧迫感のないデザインができ上がり、書いた文字の視認性をもアップさせることに成功している。書いた文字が目飛び込んでくるのがお分かりいただけるだろう。周辺のレイアウトがしっかりと認識できるうえに、書いた文字を邪魔しないように配慮した ACTIO 手帳独自のこだわりデザインとなっている。

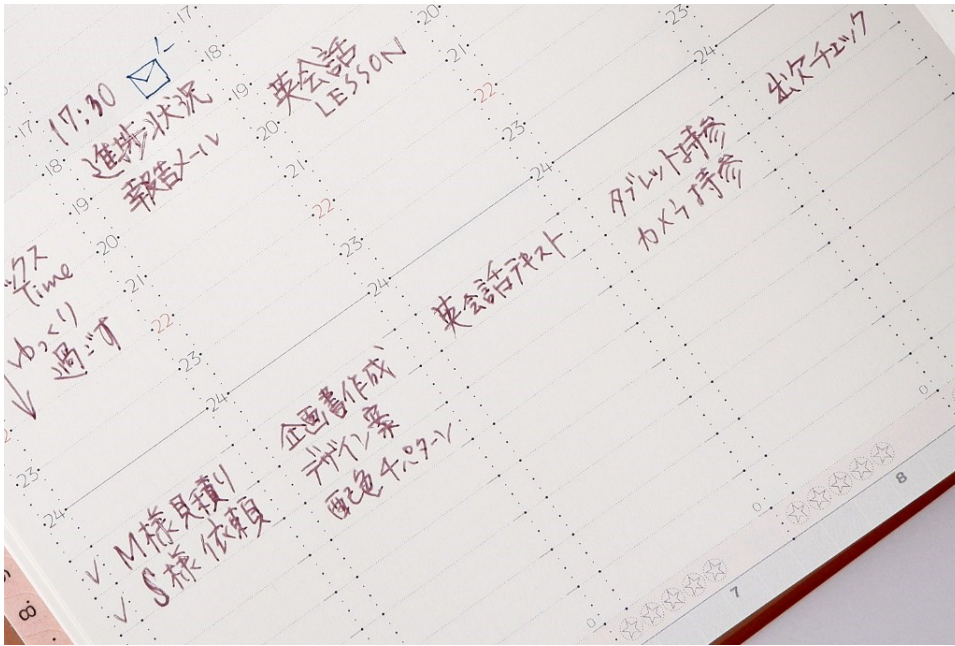
◆こだわりを詰め込んだ週間レイアウト③【自由にアレンジしやすい設計】



これまでご覧いただいたように、ACTIO 手帳の週間レイアウトは、機能がしっかりあるにもかかわらず、主張が強すぎないデザインとなっているため、レイアウトに沿った使い方ができることはもちろん、レイアウトを無視して自分スタイルに合わせてアレンジがしやすい設計になっている点も注目してほしい。

ACTIO 手帳シリーズでは、ユーザー様が手帳を一年間使続ける中

で、仕事の質も量も流動的に変動することが多くなることを前提としており、手帳ユーザー様ご自身のライフスタイル・ビジネススタイルに合わせて、手帳の書き方もそれに合わせて変更しやすいよう配慮



した設計となっている。見た目の圧迫感の低減や書いた文字の視認性を高める仕掛け等がそれを可能にしているといってもよい。

以上のように、週間ページに「その日の行事、時間目盛を使った時間管理、TO DO リスト、ひと言日記、目標と振り返り、備忘録」等、基本的な機能をしっかりと備えつつ自由度にも配慮した「ACTIO 手帳デジナール」をぜひ一度ご愛用いただきたい。

